

# 太田商工会議所管内景況調査報告書

(第108回)

2023年 10月 ~ 12月期 実績

2024年 1月 ~ 3月期 見通し

## 太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail [info@staff.otacci.or.jp](mailto:info@staff.otacci.or.jp)

# 太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 比較資料編	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

## 【調査要項】

### 1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

### 2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2023年12月
- ② 調査対象期間 今期（2023年10月～12月期）に対する前期（2023年7月～9月期）及び前年同期（2022年10月～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

### 3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

### 4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全体	270	→	220	81.5 (%)
輸送機器	40	→	35	87.5 (%)
その他製造	40	→	32	80.0 (%)
建設業	50	→	44	88.0 (%)
卸売業	30	→	21	70.0 (%)
小売業	40	→	34	85.0 (%)
サービス業	70	→	54	77.1 (%)

### 5. D I 値について

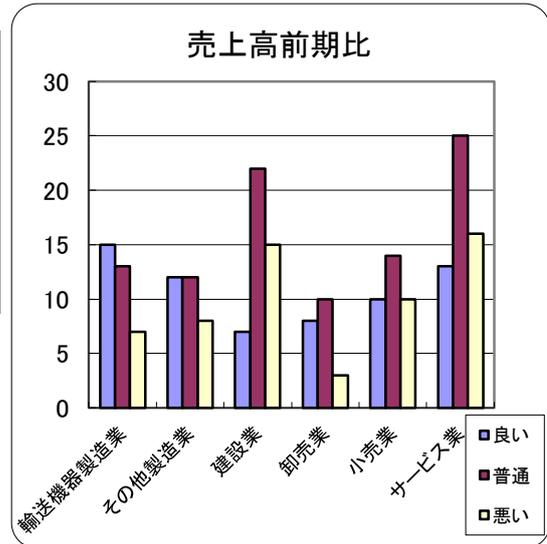
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

## (1)設問に対する業種別回答

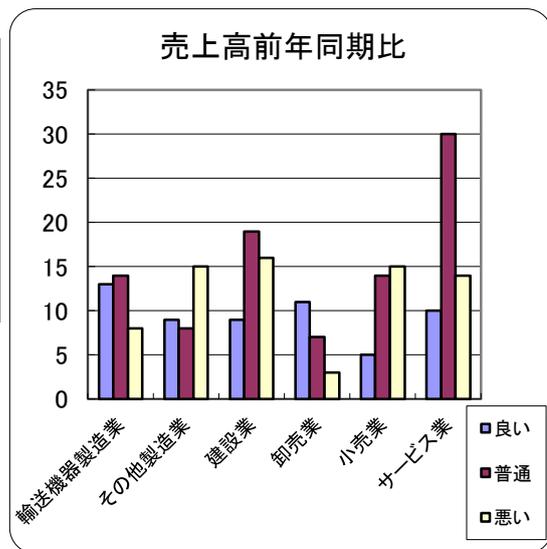
### 売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	15	13	7	35	22.9
その他製造業	12	12	8	32	12.5
建設業	7	22	15	44	▲ 18.2
卸売業	8	10	3	21	23.8
小売業	10	14	10	34	0.0
サービス業	13	25	16	54	▲ 5.6
合計	65	96	59	220	2.7



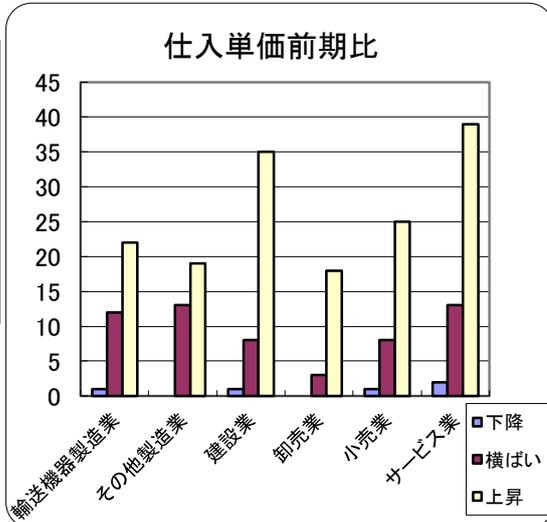
### 売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	14	8	35	14.3
その他製造業	9	8	15	32	▲ 18.8
建設業	9	19	16	44	▲ 15.9
卸売業	11	7	3	21	38.1
小売業	5	14	15	34	▲ 29.4
サービス業	10	30	14	54	▲ 7.4
合計	57	92	71	220	▲ 6.4



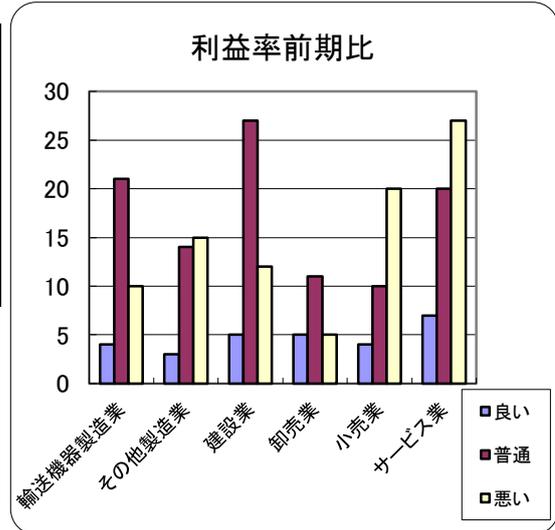
### 仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	12	22	35	▲ 60.0
その他製造業	0	13	19	32	▲ 59.4
建設業	1	8	35	44	▲ 77.3
卸売業	0	3	18	21	▲ 85.7
小売業	1	8	25	34	▲ 70.6
サービス業	2	13	39	54	▲ 68.5
合計	5	57	158	220	▲ 69.6



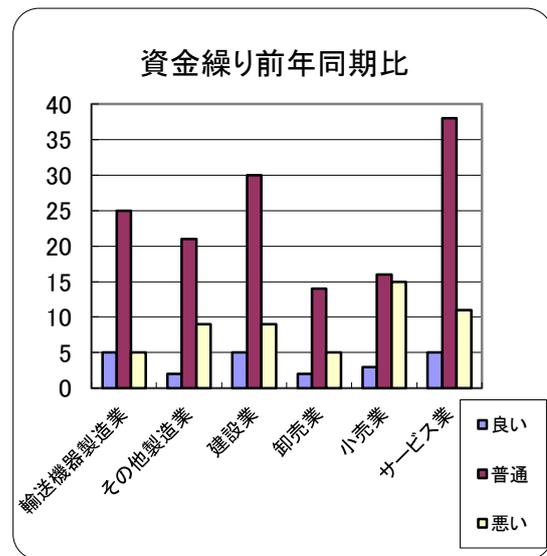
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	21	10	35	▲ 17.1
その他製造業	3	14	15	32	▲ 37.5
建設業	5	27	12	44	▲ 15.9
卸売業	5	11	5	21	0.0
小売業	4	10	20	34	▲ 47.1
サービス業	7	20	27	54	▲ 37.0
合計	28	103	89	220	▲ 27.7



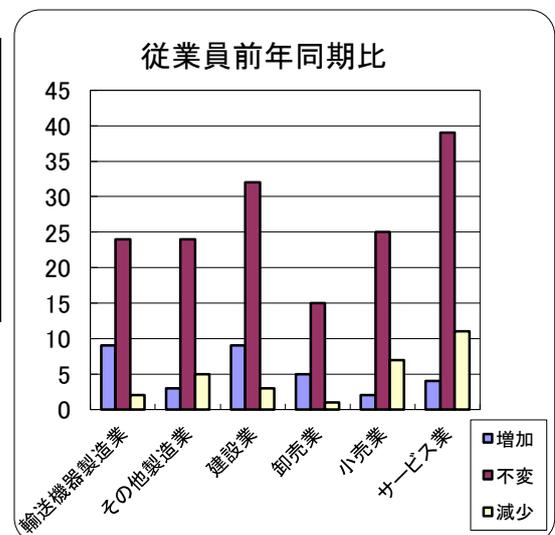
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	25	5	35	0.0
その他製造業	2	21	9	32	▲ 21.9
建設業	5	30	9	44	▲ 9.1
卸売業	2	14	5	21	▲ 14.3
小売業	3	16	15	34	▲ 35.3
サービス業	5	38	11	54	▲ 11.1
合計	22	144	54	220	▲ 14.6



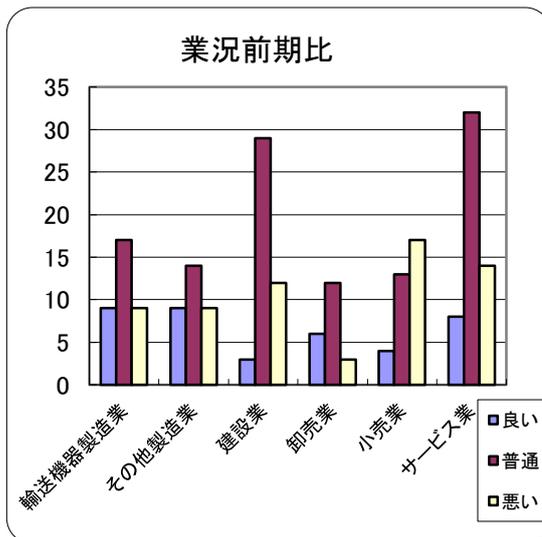
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	9	24	2	35	20.0
その他製造業	3	24	5	32	▲ 6.3
建設業	9	32	3	44	13.6
卸売業	5	15	1	21	19.1
小売業	2	25	7	34	▲ 14.7
サービス業	4	39	11	54	▲ 13.0
合計	32	159	29	220	1.4



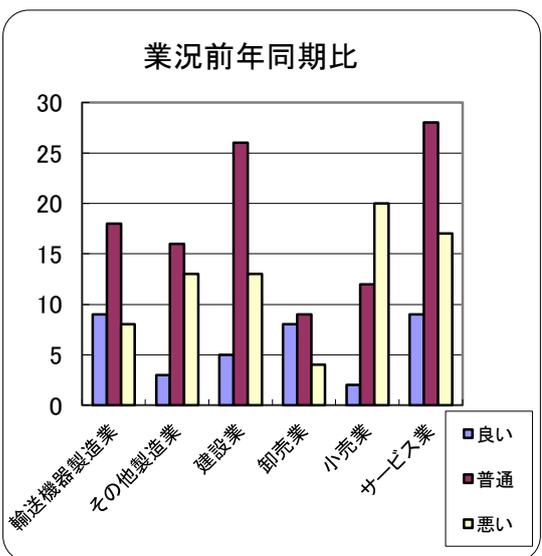
### 業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	17	9	35	0.0
その他製造業	9	14	9	32	0.0
建設業	3	29	12	44	▲ 20.5
卸売業	6	12	3	21	14.3
小売業	4	13	17	34	▲ 38.2
サービス業	8	32	14	54	▲ 11.1
合計	39	117	64	220	▲ 11.4



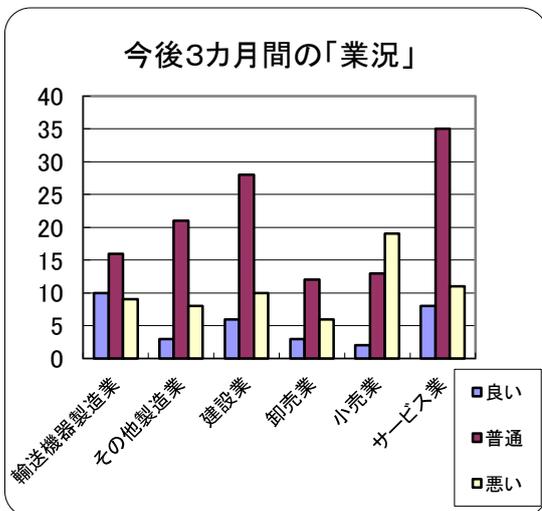
### 業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	18	8	35	2.9
その他製造業	3	16	13	32	▲ 31.3
建設業	5	26	13	44	▲ 18.2
卸売業	8	9	4	21	19.1
小売業	2	12	20	34	▲ 52.9
サービス業	9	28	17	54	▲ 14.8
合計	36	109	75	220	▲ 17.7



### 今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	10	16	9	35	2.9
その他製造業	3	21	8	32	▲ 15.6
建設業	6	28	10	44	▲ 9.1
卸売業	3	12	6	21	▲ 14.3
小売業	2	13	19	34	▲ 50.0
サービス業	8	35	11	54	▲ 5.6
合計	32	125	63	220	▲ 14.1



## (2)業種別DI値について

輸送機器	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	17.7	22.9	5.2
売上高前年同期比	23.5	14.3	▲ 9.2
仕入単価前期比	▲ 64.7	▲ 60.0	4.7
利益率前期比	▲ 2.9	▲ 17.1	▲ 14.2
資金繰り前年同期比	▲ 2.9	0.0	2.9
従業員前年同期比	▲ 3.0	20.0	23.0
業況前期比	8.8	0.0	▲ 8.8
業況前年同期比	8.8	2.9	▲ 5.9
今後3ヶ月間の業況見通し	14.7	2.9	▲ 11.8

### [企業コメントより]

- ・まだまだ売上が減少している【制動機部品】
- ・前年に比べ仕事は多いが、利益率は良くない【型製造】
- ・仕事量にバラツキがある。年々バラツキが大きくなっている【金属加工】
- ・人件費(最低賃金)上昇を製品(価格)に転換できていない(単なるマイナス)。売上高上昇があったが廃業や他社からの乗り換えによる受注によるものであり、新規受注とはちょっと違う【金属加工】
- ・部品供給懸念が薄れた【内装部品】
- ・自動車の生産が増加した【樹脂成型】

その他製造業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 5.7	12.5	18.2
売上高前年同期比	▲ 25.7	▲ 18.8	6.9
仕入単価前期比	▲ 77.1	▲ 59.4	17.7
利益率前期比	▲ 40.0	▲ 37.5	2.5
資金繰り前年同期比	▲ 25.7	▲ 21.9	3.8
従業員前年同期比	▲ 8.6	▲ 6.3	2.3
業況前期比	▲ 14.3	0.0	14.3
業況前年同期比	▲ 31.4	▲ 31.3	0.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 5.7	▲ 15.6	▲ 9.9

### [企業コメントより]

- ・温暖化のため追加発注が全くない【ニット製品】
- ・受注の回復により売上が増加している【板金加工】
- ・コロナ収束ムードの中、止まっていた設備投資が大手各社を中心に動き始めたことで、既に2025年度の仕事まで話が来ている状況である。一過性のものとは思われるが、大手メーカーの設備投資の過熱により徐々に投資意欲が裾野まで波及していくと思うと、ここ5~6年は受注は安泰と思われる【産業機械】
- ・コロナ禍明けの特需も一巡し、コロナ前の日常生活が戻ってきたが、再び円安要因による値上げで収益が圧迫される局面となった模様である。今後、再度の値上げや2024年物流問題によるコストアップなどが予想され、経営には俊敏な動きが求められる【食品製造】
- ・アルミ材は2023年に入って一度は価格が下がったが、再び高騰してきた。プラスチック材は軒並み高騰している。今期は急ぎ案件が多かった。以前は急ぎの発注だこちらの提示する金額で請求できたが、今はどんなに時間がなくても一度見積もりを要求されることが増えた。それだけ予算がシビアなのだと感じた。また一部の会社が安値で沢山の仕事を持ってしまったため受注価格が値崩れしていると聞いた。値段を下げてでも仕事が決まらない原因だと思う【樹脂製品加工】

建設業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2
売上高前年同期比	▲ 10.5	▲ 15.9	▲ 5.4
仕入単価前期比	▲ 86.8	▲ 77.3	9.5
利益率前期比	▲ 29.0	▲ 15.9	13.1
資金繰り前年同期比	▲ 13.2	▲ 9.1	4.1
従業員前年同期比	5.3	13.6	8.3
業況前期比	▲ 5.3	▲ 20.5	▲ 15.2
業況前年同期比	▲ 15.8	▲ 18.2	▲ 2.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 18.4	▲ 9.1	9.3

[企業コメントより]

- ・工事の着工遅れにより売り上げは落ちているが、受注状況は良く、繰越工事が増加している【総合建築業】
- ・景況感は横ばいで新しい動きなし。今は仕入単価の上昇や納品遅延が問題であるが、将来に向けては人材不足や高齢化の影響などに不透明感を感じる事が多く、全体的には現状維持の傾向である。これらは以前から指摘されていた問題でもあるが、改善策は引き続き検討課題である。廃業やM&Aも視野に入れた戦略も必要かも知れない【建築付帯工事】
- ・資材の値上がりが続くうえに、品物によってはなかなか入ってこない物もあり、作業が完了しないことがあります【建築付帯工事】
- ・新築工事の受注率はかなり減少しています。予定のない改修工事ばかりで先の見通しはわからない状況です【建築付帯工事】
- ・国の政策とされる理由により、電線がほぼ入荷できなくなっている。このままこの状況が続けば、仕事ができなくなる可能性がある【電気工事】

卸売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	4.8	23.8	19.0
売上高前年同期比	23.8	38.1	14.3
仕入単価前期比	▲ 85.7	▲ 85.7	0.0
利益率前期比	▲ 19.1	0.0	19.1
資金繰り前年同期比	▲ 19.1	▲ 14.3	4.8
従業員前年同期比	0.0	19.1	19.1
業況前期比	▲ 14.3	14.3	28.6
業況前年同期比	0.0	19.1	19.1
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 14.3	▲ 14.3

[企業コメントより]

- ・11月中旬より、ケーブル・電線類の一部商品が品薄となる情報があった。11月下旬には一部の商品が受注停止となり、12月に入り更にその品種が拡大した。ケーブル、電線類のメーカーの受注停止により現在は入庫の見込みもなく、お客様の問い合わせ、注文を断らざるを得ない状況。業界内は大騒ぎしています。売る物が無い【電機資材卸】
- ・営業エリアの見直し行動のプラン&レビューの徹底等教育研修の成果(により売り上げ増)【医療機器卸】
- ・移動・宿泊等に係るコストアップ(が負担である)【フランチャイズ店】
- ・新型コロナ感染法上の位置づけが5類に変わって以降、飲食店の状況は回復傾向にあるが、コロナ前の2019年に比べれば未だ厳しい状況である。今は忘年会シーズンであるが各企業の宴席は減少する一方で各個人の判断で飲みに行くことが多い【飲料卸】

小売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 33.3	0.0	33.3
売上高前年同期比	▲ 23.3	▲ 29.4	▲ 6.1
仕入単価前期比	▲ 90.0	▲ 70.6	19.4
利益率前期比	▲ 60.0	▲ 47.1	12.9
資金繰り前年同期比	▲ 16.7	▲ 35.3	▲ 18.6
従業員前年同期比	▲ 6.7	▲ 14.7	▲ 8.0
業況前期比	▲ 36.7	▲ 38.2	▲ 1.5
業況前年同期比	▲ 36.7	▲ 52.9	▲ 16.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 20.0

[企業コメントより]

- ・買い物客が商店街まで出てこない気がします。来店客が少ない【繊維製品卸】
- ・コロナの影響が続いている中でモノのコストが上昇。またコロナ禍での企業継続のため借り入れした融資の返済が負担となり、好況へ向かう上で壁となっていると思います。今、黒字倒産も増えているようなので何か多方面における対策が必要と考えます【生花店】
- ・猛暑の影響で秋物売れず。暖冬で冬物も弱い【衣料品】
- ・いろいろな品物が値上がりしたため、顧客は余分なものを買わない傾向が強い【飲料販売】
- ・単価を上げたため売り上げは上がっているが、仕入価格も値上がりしているうえに従業員(パート)の給料も上げているので収支トントンです【食料品製造販売】
- ・仕入単価が上昇している一方で、価格転嫁は進まず収益状況は悪い【米穀店】
- ・人とのつながりや新たな出逢いにより新規増客も実現しているが、仕入先との取引条件が悪化し当店のような小さな店は大変厳しい。利益よりやりがいを重視するしかない【化粧品販売】
- ・物価高騰と景気の先行き不安による買い控えの兆候があり、増収が見込めない状況です【生花店】

サービス業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 5.5	▲ 5.6	▲ 0.1
売上高前年同期比	12.7	▲ 7.4	▲ 20.1
仕入単価前期比	▲ 72.7	▲ 68.5	4.2
利益率前期比	▲ 43.6	▲ 37.0	6.6
資金繰り前年同期比	▲ 18.2	▲ 11.1	7.1
従業員前年同期比	▲ 7.3	▲ 13.0	▲ 5.7
業況前期比	▲ 3.6	▲ 11.1	▲ 7.5
業況前年同期比	0.0	▲ 14.8	▲ 14.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 9.1	▲ 5.6	3.5

[企業コメントより]

- ・人員・体制の丁寧な変更(が功を奏している)【情報】
- ・スバルの輸送の運賃が一部引き上げられ、採算が良くなった【運輸】
- ・従業員が足りなくて困っている【レストラン】
- ・売上は少しずつ良くなっているが、あらゆる物価の高騰により営業利益は変わらない(※変わらないといってもコロナ禍と比較すればの話で、良いとは言えない)か、もしくは下がっている。賃上げや物価高騰などで支出は増えるが、一方で収入(売上)は値切られたりするので、中小規模の事業者が弱者として泣かざる得ない。結果、大手企業だけが莫大な利益を得る構造になってしまっている【広告】
- ・人件費・材料費等の高騰により、利益等を圧迫している【寿司店】
- ・売上高は前年同期に比べ増加しているが、利益率を確保するのが難しい。コロナ前の水準まで売り上げを回復したいが、なかなか戻らない。労働者の待遇改善も必要と考える【飲食サービス】

- 2023年10月は売上・利益とも過去5年間で最も悪かった。普段10月下旬は年間でも売上利益が良いはずなのに過去最低で、今年はなぜメーカーの稼働が悪いのか理由さえわからない。中国向けの輸出が悪いのだろうか？その理由が知りたい【資源回収】
- 仕込み値が上がっている上に、人件費も上げざるを得ない。一方で売値はなかなか上げられず、利益率が悪すぎてどこで採算を取ればいいのか難しい【居酒屋】
- 消費者が買い控えをしているのではないか【教育サービス】
- 法事を含め、店内での宴席が完全に戻った。仕入れについては、物価高の影響をしみじみと感じる【和食店】
- ニュースで不安を煽り過ぎる結果、サービスや商品の買い控えが起きていると思う【美容業】
- 全体的に業界の動向が下降気味と感じる。現場でのお客様の収入が伸びているように感じないと、今後教育業界も厳しくなるのではと感じる【教育サービス】

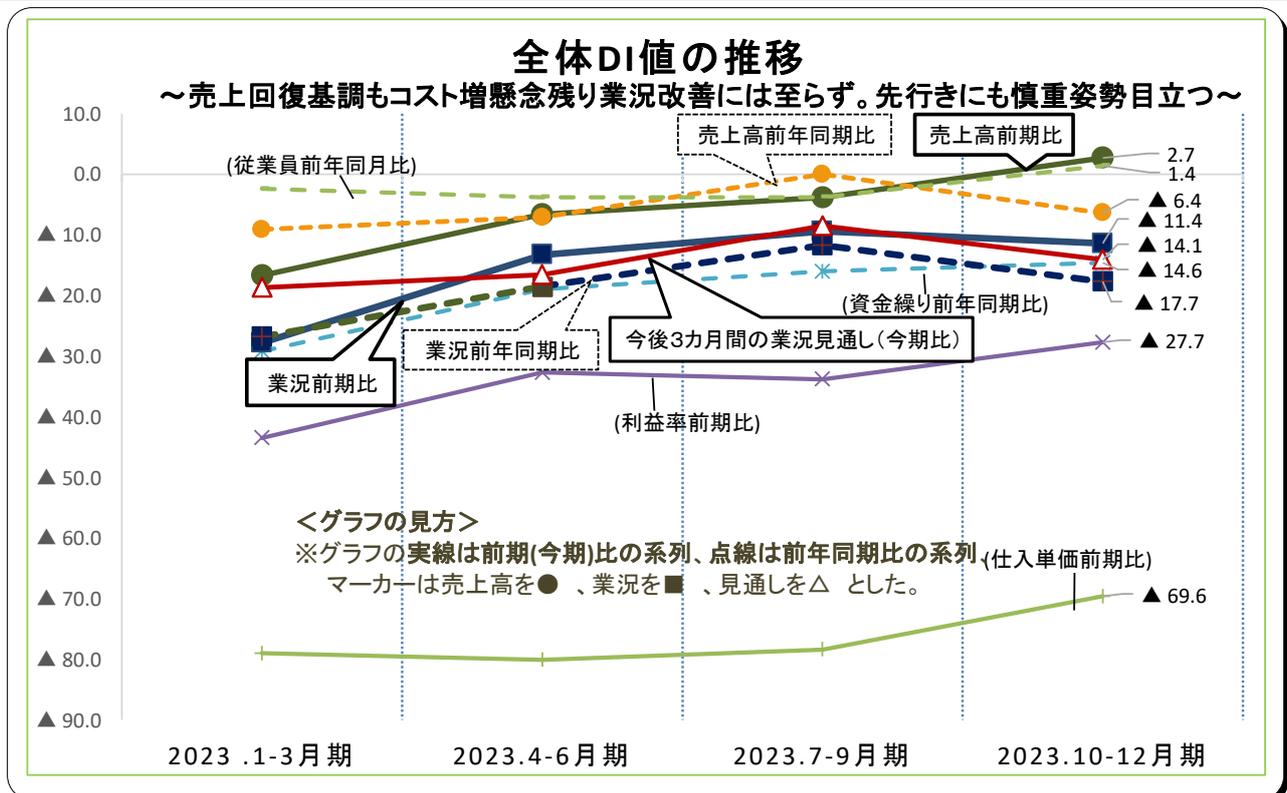
### (3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 3.8	2.7	6.5
売上高前年同期比	0.0	▲ 6.4	▲ 6.4
仕入単価前期比	▲ 78.4	▲ 69.6	8.8
利益率前期比	▲ 33.8	▲ 27.7	6.1
資金繰り前年同期比	▲ 16.0	▲ 14.6	1.4
従業員前年同期比	▲ 3.8	1.4	5.2
業況前期比	▲ 9.4	▲ 11.4	▲ 2.0
業況前年同期比	▲ 11.7	▲ 17.7	▲ 6.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.5	▲ 14.1	▲ 5.6

#### <動向について>

- ・23年10~12月期の売上高前期比DIは全体ベースで6.5ポイント上昇、一方で業況前期比DIは2.0ポイント低下した。売上は上向きだが、物価高続き人件費も上げざるを得ず苦しいとのコメントあり。
- ・なお今期は、仕入単価前期比DIは全業種において上昇(価格低下方向)し、全体ベースでも8.8ポイント改善した。これを受け利益率DIにも上昇がみられたが、仕入単価DIの水準自体は▲69.6と依然厳しい。
- ・今後3か月間の業況見通しDIについては多くの業種が慎重な見方で、全体ベースで今期比5.6ポイントの低下を予想する。資材の調達難による作業渋滞や、物価高騰による買い控えなどが懸念されている。

全 体 D I 値 の 推 移	2023.1-3月期	2023.4-6月期	2023.7-9月期	2023.10-12月期
売上高前期比	▲ 16.7	▲ 6.6	▲ 3.8	2.7
売上高前年同期比	▲ 9.1	▲ 7.1	0.0	▲ 6.4
仕入単価前期比	▲ 79.0	▲ 80.1	▲ 78.4	▲ 69.6
利益率前期比	▲ 43.5	▲ 32.7	▲ 33.8	▲ 27.7
資金繰り前年同期比	▲ 29.2	▲ 19.0	▲ 16.0	▲ 14.6
従業員前年同期比	▲ 2.4	▲ 3.8	▲ 3.8	1.4
業況前期比	▲ 27.8	▲ 13.3	▲ 9.4	▲ 11.4
業況前年同期比	▲ 26.8	▲ 18.5	▲ 11.7	▲ 17.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 18.7	▲ 16.6	▲ 8.5	▲ 14.1



## (4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、3か月の平均値でDI値を算出)

### ①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	17.9	▲ 12.8	-	-
建設業	▲ 18.2	▲ 11.3	-	-
卸売業	23.8	▲ 11.8	-	-
小売業	0.0	▲ 20.8	-	-
サービス業	▲ 5.6	▲ 12.9	-	-
全体	2.7	▲ 14.7	-	-

### ②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 1.5	-	5.4	2.6
建設業	▲ 15.9	-	▲ 4.5	
卸売業	38.1	-	2.0	2.3
小売業	▲ 29.4	-	▲ 3.1	
サービス業	▲ 7.4	-	14.7	
全体	▲ 6.4	-	4.0	2.3

(↑非製造業という括り)

### ③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 59.7	-	▲ 62.8	-
建設業	▲ 77.3	-	▲ 72.3	-
卸売業	▲ 85.7	-	▲ 62.6	-
小売業	▲ 70.6	-	▲ 71.4	-
サービス業	▲ 68.5	-	▲ 63.9	-
全体	▲ 69.6	-	▲ 66.4	-

(仕入単価・前年同期比)

### ④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.9	▲ 20.7	▲ 10.3	4.6
建設業	▲ 15.9	▲ 24.7	▲ 17.1	
卸売業	0.0	▲ 15.6	▲ 10.3	1.5
小売業	▲ 47.1	▲ 30.1	▲ 16.5	
サービス業	▲ 37.0	▲ 19.2	▲ 6.7	
全体	▲ 27.7	▲ 22.7	▲ 11.8	2.3

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

### ⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 10.4	▲ 13.5	▲ 11.7	6.0
建設業	▲ 9.1	▲ 8.1	▲ 5.4	
卸売業	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 7.7	13.0
小売業	▲ 35.3	▲ 22.3	▲ 18.8	
サービス業	▲ 11.1	▲ 14.5	▲ 8.9	
全体	▲ 14.6	▲ 15.2	▲ 11.0	11.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	7.5	▲ 3.2	－	－
建設業	13.6	▲ 3.4	－	－
卸売業	19.1	▲ 1.4	－	－
小売業	▲ 14.7	▲ 3.6	－	－
サービス業	▲ 13.0	▲ 4.1	－	－
全体	1.4	▲ 3.5	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 16.1	－	1.0
建設業	▲ 20.5	▲ 12.8	－	13.0
卸売業	14.3	▲ 16.7	－	12.0
小売業	▲ 38.2	▲ 27.6	－	11.0
サービス業	▲ 11.1	▲ 17.8	－	20.0
全体	▲ 11.4	▲ 18.9	－	9.0

(サービス業は宿泊・飲食の数字)

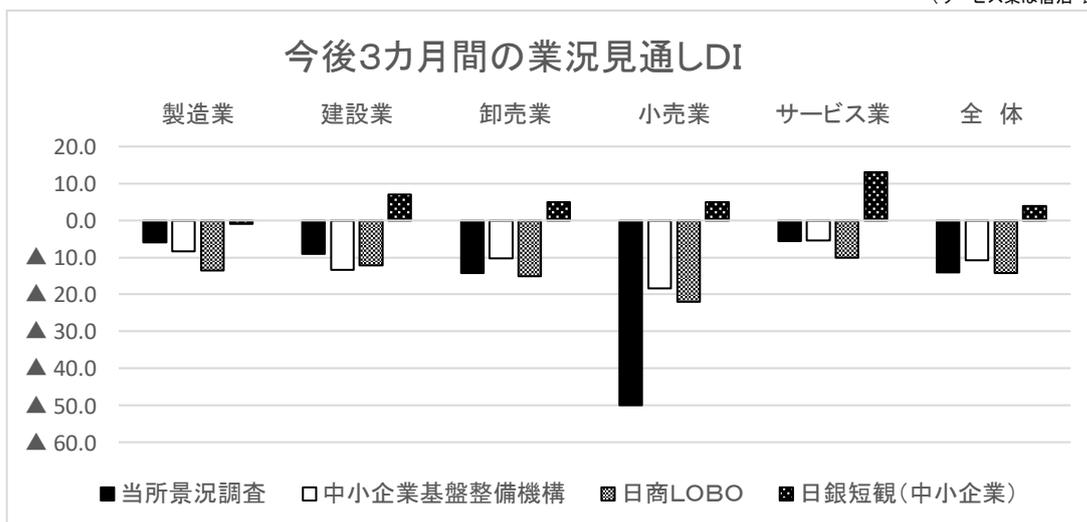
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.4	－	▲ 9.2	－
建設業	▲ 18.2	－	▲ 12.3	－
卸売業	19.1	－	▲ 13.2	－
小売業	▲ 52.9	－	▲ 18.5	－
サービス業	▲ 14.8	－	0.9	－
全体	▲ 17.7	－	▲ 9.5	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 6.0	▲ 8.3	▲ 13.5	▲ 1.0
建設業	▲ 9.1	▲ 13.4	▲ 12.2	7.0
卸売業	▲ 14.3	▲ 10.2	▲ 15.1	5.0
小売業	▲ 50.0	▲ 18.4	▲ 22.0	5.0
サービス業	▲ 5.6	▲ 5.4	▲ 10.0	13.0
全体	▲ 14.1	▲ 10.7	▲ 14.3	4.0

(サービス業は宿泊・飲食の数字)



# 太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail [info@staff.otacci.or.jp](mailto:info@staff.otacci.or.jp)

2024年（令和6年）1月22日 発行